

看護教育 第14巻 総目次

1963年1-12号

(第13巻 第5号の特集文献集録に準じて分類)

教育原論に関するもの

- 教育の眼 屈辱社会と教育：佐藤忠男，1号，60-64頁。
教育の眼 働く者の誇りについての教育：佐藤忠男，2号，130-134頁。
教育の眼 問題をつくる力：佐藤忠男，3号，201-205頁。
教育の眼 規格外の教育：佐藤忠男，4号，274-278頁。
教育の眼 点数本位の教育：佐藤忠男，5号，342-346頁。
教育の眼 学校と塾：佐藤忠男，6号，404-408頁。
教育の眼 自由に学ぶ：佐藤忠男，7号，479-483頁。
教育の眼 点数のとりすぎについて：佐藤忠男，8号，551-560頁。
教育の眼 労働教育の回復(1)：佐藤忠男，9号，621-625頁。
教育の眼 労働教育の回復(2)：佐藤忠男，10号，682-686頁。
教育の眼 映画教育の提案：佐藤忠男，11号，751-755頁。
教育の眼 肉体労働と知能労働(1)：佐藤忠男，12号，810-814頁。

看護学論に関するもの

- 看護とは何か——看護学構築のための基礎作業への一私見：大浦猛，11号，697-703頁。

看護教育原論に関するもの

- 看護学校経営・1 看護学校経営へのアプローチ：吉本二郎，1号，48-54頁。
特集 看護婦の生涯教育 生涯教育の考え方——波多野完治先生に聞く インタビュアー 伊東和子：4号，218-226頁。
看護学校経営・4 看護学校の組織・運営：吉本二郎，4号，261-267頁。
私の提言 地方における看護教育の改善を：荻川志づ，5号，289-294頁。
看護学校経営・5 学校内指導管理の体制：吉本二郎，

5号，331-336頁。

私の提言 このごろ思うこと：鈴木美恵子，6号，353-357頁。

対談 看護教育を考える：なだいなだ・早坂泰次郎，6号，358-368頁。

看護学校経営・6 教育課程の編成・管理と看護学校：永岡順，6号，393-398頁。

私の提言 専門性を育てるための基礎的努力を：木場富喜，7号，421-427頁。

専門職看護婦論 臨床看護の現場から学びとる能力を中心に：荒井蝶子，7号，428-436頁。

看護学校経営・7 教育活動の管理‘課外活動’の意義とその管理：真野宮雄，7号，466-473頁。

私の提言 看護教育への疑問：羽生美和子，8号，493-498頁。

対談 看護婦養成と社会教育：川上武・安食正夫，8号，499-512頁。

私の提言 ふりかえるこの道——後継者の育成と自主的な学校管理：須谷照子，9号，569-572頁。

私の提言 看護教育と人間形成：高橋美智，10号，633-637頁。

看護学校経営・10 施設・設備の活用と看護学校：永岡順，10号，671-676頁。

看護教育における‘健康の概念’：仲田妙子，11号，725-729頁。

看護学校経営・11 学校運営組織の役割と活動：吉本二郎，11号，739-744頁。

座談会 現代医療と看護教育：中川迷造・今井百代・清水昭美，12号，766-779頁。

看護学校経営・12 学校評価と看護学校経営：永岡順，12号，798-803頁。

教育制度に関するもの

私の提言 看護改革3つの柱：日比野路子，1号，1-3頁。

私の提言 看護教育制度の改善と学の確立を：渡辺モトエ，2号，73-79頁。

看護学校経営・2 看護教育制度——その現状と課題：真野宮雄，2号，115-124頁。

私の提言 4年制の国立看護大学設置を望む：壁島あや

子, 4 号, 213-217 頁.

カリキュラムに関するもの

授業研究 本校のカリキュラムの経過と現状——コアカリキュラムの展開: 岡田幸子, 10 号, 638-644 頁.

高等学校教育に関するもの

専攻科の教育について: 忠政敏子・近藤準子・小山倫子・湯越好子・山地昭子, 8 号, 524-529 頁.

進学コース教育に関するもの

進学課程の教育目標と教育方法の問題点: 波多野梗子・小野寺杜紀, 5 号, 303-316 頁.
私の提言 准看護婦の進学増加に伴う諸問題: 谷脇民子 11 号, 693-696 頁.
進学課程の 学生像: 波多野梗子・小野寺杜紀, 11 号, 712-724 頁.

短大教育に関するもの

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況・Ⅰ. 本学におけるカリキュラムについて——主として看護学学内実習・学外実習の現在に至るまでの経過と一試みおよび考察: 高橋百合子・常葉恵子, 1 号, 29-47 頁.

大学教育に関するもの

私の提言 4 年制の国立看護大学設置を望む: 壁島あや子, 4 号, 213-217 頁.

その他の学校に関するもの

琉球大学保健学部の発展の中から: 橋本秀子, 11 号, 704-711 頁.
大阪大学医療技術短期大学部看護科学生の動向 Ⅰ. 本学の成立と 6 年間の経過: 氏家幸子・砂田美津子・依田和美, 12 号, 780-791 頁.

看護教育概論のうちその他に関するもの

看護学校の図書室——その現状と問題点: 山岸和代, 6 号, 369-380 頁.

外国の看護教育に関するもの

フランスの看護婦教育制度: 華表宏有, 7 号, 451-456 頁.
アメリカにおける ADN (準学士看護婦) プログラムについて: 加藤熱美, 8 号, 519-523 頁.

教育技法・授業に関するもの

教育技術解説・1 教育の性格: 長谷川栄, 1 号, 55-59 頁.

教育技術解説・2 学習意欲: 佐々木俊介, 2 号, 125-129 頁.

授業研究 ロールプレイングによる授業: 小島操子・菅野要子・千田ひろ子・近藤房恵・坂本志津子・渡辺志保, 3 号, 154-165 頁.

教育技術解説・3 教育の方法としての直観の原理: 小川博久, 3 号, 195-200 頁.

教育技術解説・4 直観の原理の現代的意義について: 小川博久, 4 号, 268-273 頁.

教育技術解説・5 よく理解する (1): 長谷川栄, 5 号, 337-341 頁.

教育技術解説・6 よく理解する (2): 長谷川栄, 6 号, 399-403 頁.

授業研究 カンファレンス形式による内科看護講義: 西村咲子・中村妙子・池田和子・松本美津江・石野幸子, 7 号, 438-450 頁.

教育技術解説・7 練習と定着 (その 1): 庄司他人男, 7 号, 474-478 頁.

教育技術解説・8 練習と定着 (その 2): 庄司他人男, 8 号, 551-555 頁.

教材映画の製作における教材研究 (1) ——コミュニケーション: 中西睦子・岡部喜代子・坪井良子・小仲恵子, 9 号, 587-595 頁.

教育技術解説・9 個性の伸長 (1): 長谷川栄, 9 号, 616-620 頁.

教材映画の製作における教材研究 (2) ——コミュニケーション: 中西睦子・岡部喜代子・坪井良子・小仲恵子, 10 号, 655-660 頁.

教育技術解説・10 個性の伸長 (2): 長谷川栄, 10 号, 677-681 頁.

教育技術解説・11 社会性の育成をめぐる (1): 小川博久, 11 号, 745-750 頁.

教育技術解説・12 社会性の育成をめぐる (2): 小川博久, 12 号, 804-809 頁.

基礎・教養科目に関するもの

教材映画の製作における教材研究 (1) ——コミュニケーション: 中西睦子・岡部喜代子・坪井良子・小仲恵子, 9 号, 587-595 頁.

看護教育における「健康の概念」: 仲田妙子, 11 号, 725-729 頁.

専門科目に関するもの

成人看護の基本的概念——成人保健の立場から: 池川清子, 2 号, 80-89 頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 Ⅲ. 小児看護学の展開: 常葉恵子, 2 号, 90-103 頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 Ⅳ. 母性看護学指導の展開: 玉置昭子, 3 号, 166-176 頁.

頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 V. 成人看護学指導の展開 その1, 成人看護学カリキュラム中学内における指導状況を中心として: 高橋百合子・馬場昌子・内海節子・高橋章子, 4号, 250-260頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 VI. 成人看護学指導の展開 その2, 成人看護学実習の展開と考察: 内海節子・高橋章子, 5号, 317-330頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 VII. 成人看護学指導の展開 その3, 現在までの指導・展開: 高橋百合子・杉野佳江・藤間公子, 6号, 381-392頁.

授業研究 カンファレンス形式による内科看護講義・西村咲子・中村妙子・池田和子・松本美津江・石野幸子, 7号, 438-450頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 VIII. 看護学総論指導の展開と考察(その1): 仲田妙子, 7号, 457-465頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 IX. 看護学総論指導の展開と考察(その2): 杉野佳江, 8号, 535-543頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 X. 看護学総論指導の展開と考察(その3)——看護概論を中心として看護技術および看護実習へ: 高橋百子, 9号, 602-608頁.

臨床実習・臨床指導に関するもの

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 II. 本学におけるカリキュラムについて——主として看護学学内実習・学外実習の現在に至るまでの経過と一試みおよび考察: 高橋百合子・常葉恵子, 1号, 29-47頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 III. 小児看護学の展開: 常葉恵子, 2号, 90-103頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 IV. 母性看護学指導の展開: 玉置昭子, 3号, 166-176頁.

法的にみた'注射'と'血沈'の実習についての私見: 鈴木美恵子, 5号, 295-302頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 VI. 成人看護学指導の展開 その2, 成人看護学実習の展開と考察: 内海節子・高橋章子, 5号, 317-330頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 VII. 成人看護学指導の展開 その3, 現在までの指導・展開: 高橋百合子・杉野佳江・藤間公子, 6号, 381-392頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 IX. 看護学総論指導の展開と考察(その2): 杉野佳江, 8号, 535-543頁.

看護学校経営・8 実習の指導組織——その現状と問題点: 真野宮雄, 8号, 544-550頁.

授業研究 専任指導者による臨床実習の実際: 内尾貞子・山口登志子・横山京子・安野万理子・大島あさ子・岩島けさ子, 9号, 574-586頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 XI. 全体総括(1): 高橋百合子, 10号, 661-670頁.

愛知県立看護短期大学における看護教育の現況 XII. 全体総括(2): 高橋百合子, 11号, 730-738頁.

私の提言 臨床実習について: 鈴木文江, 12号, 761-765頁.

精神科看護実習における学生の反応: 中村全江, 12号, 792-797頁.

保健所実習に関するもの

看護教育における公衆衛生看護学実習の試み XI. 保健所側の指導者からみた看護学生指導: 氏家幸子, 2号, 104-114頁.

看護教育における公衆衛生看護学実習の試み X. 全体総括: 氏家幸子, 3号, 177-187頁.

新カリキュラムに基づく保健所実習の内容と実例: 針生セツコ, 8号, 530-534頁.

戴帽式・課外活動・寮問題・学生に関するもの

看護学校の予科期・戴帽式についての一考察: 松木光子ほか, 4号, 240-249頁.

看護学校経営・7 教育活動の管理 '課外活動'の意義とその管理: 真野宮雄, 7号, 466-473頁.

看護学院学生の読書傾向を探る: 田中松子, 9号, 596-601頁.

看護学校経営・9 寄宿舎の制度とその管理: 真野宮雄, 9号, 609-615頁.

教務・専任教員等に関するもの

看護教師論: 吉武香代子, 1号, 4-12頁.

座談会 看護教員養成への提言: 杉森みどり・小池明子・吉田京子・吉本二郎, 1号, 13-28頁.

私の提言 看護教師の教育体系の確立を: 近藤潤子, 3号, 145-152頁.

看護学校経営・3 教職の専門性と看護教師の研修: 永岡順, 3号, 188-194頁.

看護学校経営・5 学校内指導管理の体制: 吉本二郎, 5号, 331-336頁.

現任教育に関するもの

特集 看護婦の生涯教育 生涯教育の考え方——波多野完治先生に聞く インタビュアー 伊東和子: 4号,

218-226 頁.

特集 看護婦の生涯教育 座談会 看護婦の生涯教育
——現任教育を中心として：外口玉子・小池田鶴子
・古庄富美子・岡田経子・細具怜子，4号，227-
239 頁.

現任保健婦に対する公衆衛生看護教育 公衆衛生院の保
健婦現任教育課程において強調した保健指導事例
研究指導：高橋園子・平山朝子，10号，645-654
頁.

その他

書評 豊富な例文による 具体的な手引書 八杉竜一著
“論文・レポートの書き方”：根本靖子，1号，65-
67 頁.

書評 限界状況における人間性の追求 ヴィクトル・E・
フランクル著 “夜と霧”：喬橋琴恵，1号，65-67
頁.

書評 ‘家庭の意義’と‘家族の役割’を心理学的に解明
島田一男・日上泰輔・大羽綾子著 “家庭の人間関係”
(心理学入門講座 8)：寺田真廣 2号，135-136
頁.

書評 ‘健康と病気’に広範な専門分野からアプローチす
る ルネ・デュボス著 木原弘二訳 “人間と適応”：
佐藤和美，2号，137-138 頁.

書評 病める医療制度，回復への手がかりを求めて NH
K 海外取材班著 “世界の医療”：渡辺文子，3
号，206-207 頁.

書評 日本人の特性と対象の理解 木村敏著 “人と人との
間——精神病理学的日本論”：山本富士江，3号，
208-209 頁.

書評 生命出現の偶然性と科学の限界 ジャック・モノ
ー著 “偶然と必然”：渡辺文子，4号，279-280
頁.

書評 依存から独立への不安をさぐる 武田建著 “人格
発達論”：寺田真廣，4号，280-282 頁.

書評 生死の問題，心のあり方を考える 紀野一義著
“仏との出会い”：石塚孝子，5号，347-348 頁.

書評 よみがえる人間ナイチンゲール——看護史の副読
本——Zachary Cope 著 三輪卓爾訳 “ナイチンゲ
ールと六人の弟子”：雪永政枝，5号，348-349 頁.

書評 フランクル哲学のエッセンス ヴィクトル・E・フ
ランクル著 真行寺功訳 “苦悩の存在論”：田中一
彦，6号，409-411 頁.

書評 時代を超えて脈打つ教育の基本 アーノルド・N・

ホワイトヘッド著 久保田信之訳 “ホワイトヘッド
教育論”：佐藤和美，6号，411-413 頁.

読者のひろば この1年をふりかえって：鮎田清江，6
号，415 頁.

書評 病める現代医学への警鐘 アレクサンダー・ミ
ッチャーリヒ著 中野良平・白滝貞昭訳 “○藤とし
ての病精神身体医学的考察”：熱田小津江，7号，
484-485 頁.

書評 ‘死’から見た‘生’への提言 アーノルド・トイ
ンビー他著 青柳晃一他訳：寺田真廣，7号，486-
488 頁.

書評 医療と福祉の接点において看護の本質を考える
川上武・岡上和雄編著 “福祉の医学” (社会福祉
と諸科学全 8 卷一 7)：渡辺文子，8号，561-562
頁.

書評 保健婦事業の芽ばえと発展過程を明らかにする
大国美智子著 “保健婦の歴史”：高橋政子，8号，
562-563 頁.

読者のひろば むずかしい母性臨床指導：山西みな子，
8号，564 頁.

書評 動物としての人間の再発見 デズモンド・モリス
著 矢島剛一訳 “人間動物園”：佐藤和美，9号，
626-628.

書評 深遠なる人生への啓示 森有正著 “バビロンの流
れのほとりにて”：喬橋琴恵，9号，628-629 頁.

書評 おんなに関する‘神話’からの解放 川島みどり他
著 “おんなと仕事” (講座おんな・5)：熱田小津
江，10号，687-688 頁.

書評 教育における芸術の意味 ハーバート・リード著
小野修訳 “芸術教育の基本原則——人間ロボットの
解放”：寺田真廣，10号，689-690 頁.

書評 何気ない‘身振り’への醒めた問いかけ 多田道
太郎著 “しぐさの日本文化”：坪井良子，11号，
756-757 頁.

書評 看護婦教育のあゆみに看護の本質を見つめ直す
福田邦三・永坂三夫共訳 “聖トマス病院 ナイチン
ゲール 看護婦養成学校 100 年のあゆみ”：井原満
子，11号，758 頁.

書評 看護教育を考える豊富な素材を提供 山住正巳著
“教育入門——本と人と問題と——”：石塚孝子，
12号，815-816 頁.

書評 看護婦の指導的機能についての指標 Margaret
L. Pohl 著 鮫島康子・ライダー怜子訳 “看護婦の
教育的機能”：中西睦子，12号，816-817 頁.